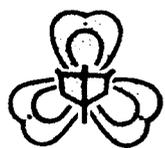


友よ!



東京・石中会だより

第5号

発行 東京・石中会広報委員会 事務局/〒253-0072 茅ヶ崎市今宿 360-3-2-302 Tel.&Fax./0467-85-7631
平成21年6月7日

スポーツライター 首藤光春さん 後輩に熱弁

『北京オリンピック&スポーツ 感動シアター』



ホットトークの首藤さん

恒例の母校石中における教育講演会は、2008年12月5日元ベースボールマガジン編集長の首藤光春（8回生）さんが石中の後輩達300人に熱いメッセージを送った。

新妻牧雄校長先生のご挨拶と講師紹介に続いて講演が始まった。講演は2部構成で行われ、第1部の「映像で見る北京五輪」では、



生徒会から花束を受けた

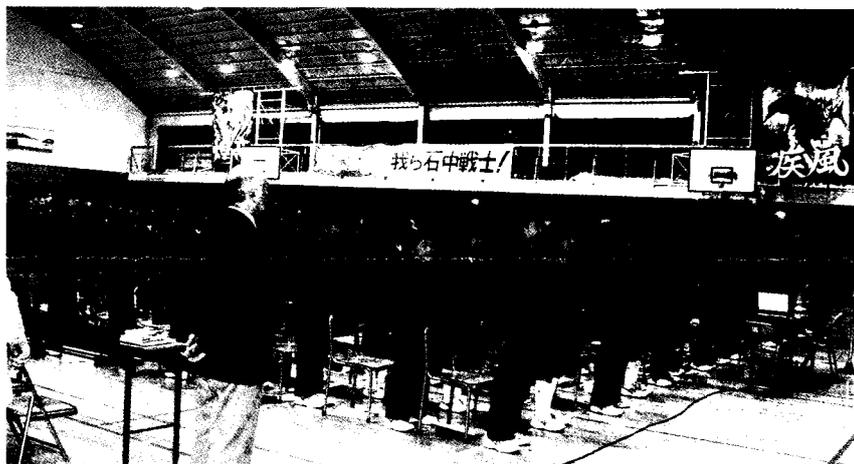
記憶に生々しいアスリート達の戦いを画像を使って語りかけた。特に、宿敵アメリカを破り金メダルに輝いた女子ソフトボールでは、上野由岐子投手の長期

に渡る取材で得たエピソードを挟んで、想像をはるかに超えた鍛錬と人間性が結果として金メダルにたどり着いたと語った。

第2部の、「プロ野球今昔物語」のテーマでは、ベースボールマガジン編集長時代に親交の厚かった長嶋茂雄や王貞治との2ショットの画像を見ながら、懐かしそうにとっておきの秘話を語った。最後に「人は一人では生きていけない、スポーツに限らずお互いが助け合う人間愛を大切にしてほしい。夢を実現するには意志をしっかりと持ち、努力を継続してほしい。」と熱いメッセージで締めくくった。

運動部の生徒からいくつかの質問があり、お礼のことばと花束贈呈と大きな拍手で見送られて終了した。当日、石中恩師の阿部宏先生(元石巻市教育長で愛称デンスケ先生)や8・9回生の同窓生の方々が20人ほどお見えになり、新旧一体の有意義な講演会となった。

(追) 首藤光春氏は「東京石中会」の発起人の一人で、現在も役員として活躍中である。また、現在編集プロダクションkk「蒼天」の部長をしている。(飯田勝紀 記)



全校生徒 300人が集会

石中 努力で夢を現実に
卒業生首藤さんが講演
石巻市立首藤中学校「蒼天」のスポーツライター、元ベースボールマガジン編集長の首藤光春（8回生）さんが、母校石中の後輩達300人に熱いメッセージを送った。講演は2部構成で行われ、第1部の「映像で見る北京五輪」では、記憶に生々しいアスリート達の戦いを画像を使って語りかけた。特に、宿敵アメリカを破り金メダルに輝いた女子ソフトボールでは、上野由岐子投手の長期に渡る取材で得たエピソードを挟んで、想像をはるかに超えた鍛錬と人間性が結果として金メダルにたどり着いたと語った。第2部の、「プロ野球今昔物語」のテーマでは、ベースボールマガジン編集長時代に親交の厚かった長嶋茂雄や王貞治との2ショットの画像を見ながら、懐かしそうにとっておきの秘話を語った。最後に「人は一人では生きていけない、スポーツに限らずお互いが助け合う人間愛を大切にしてほしい。夢を実現するには意志をしっかりと持ち、努力を継続してほしい。」と熱いメッセージで締めくくった。運動部の生徒からいくつかの質問があり、お礼のことばと花束贈呈と大きな拍手で見送られて終了した。当日、石中恩師の阿部宏先生(元石巻市教育長で愛称デンスケ先生)や8・9回生の同窓生の方々が20人ほどお見えになり、新旧一体の有意義な講演会となった。



石中8回生の首藤さんが講演した

地元紙に
掲載された記事

石巻目新
石巻市立首藤中学校「蒼天」のスポーツライター、元ベースボールマガジン編集長の首藤光春（8回生）さんが、母校石中の後輩達300人に熱いメッセージを送った。講演は2部構成で行われ、第1部の「映像で見る北京五輪」では、記憶に生々しいアスリート達の戦いを画像を使って語りかけた。特に、宿敵アメリカを破り金メダルに輝いた女子ソフトボールでは、上野由岐子投手の長期に渡る取材で得たエピソードを挟んで、想像をはるかに超えた鍛錬と人間性が結果として金メダルにたどり着いたと語った。第2部の、「プロ野球今昔物語」のテーマでは、ベースボールマガジン編集長時代に親交の厚かった長嶋茂雄や王貞治との2ショットの画像を見ながら、懐かしそうにとっておきの秘話を語った。最後に「人は一人では生きていけない、スポーツに限らずお互いが助け合う人間愛を大切にしてほしい。夢を実現するには意志をしっかりと持ち、努力を継続してほしい。」と熱いメッセージで締めくくった。運動部の生徒からいくつかの質問があり、お礼のことばと花束贈呈と大きな拍手で見送られて終了した。当日、石中恩師の阿部宏先生(元石巻市教育長で愛称デンスケ先生)や8・9回生の同窓生の方々が20人ほどお見えになり、新旧一体の有意義な講演会となった。

年会費の納入、有難うございました。

平成20年度の年会費は、147名の方々から振込みがありました。平成20年度は、「総会と集いの会」が開催されませんでした。大勢の会員の皆様から年会費の納入がありましたことに、役員一同熱く感動しております。これからも母校・石巻中学校発展のため、支援として実施されている講演会等の活動に力を注いでいきたいと存じます。紙面を借りまして、納入いただきました方々に厚くお礼申し上げます。

- 〈第3回生〉 青沼義信、秋保光子、秋月英美、阿部 剛、猪狩和子、大木郁子、加藤英子、河野不二子、後藤久男、小林敬子、坂本武久、佐々木襄、武山 勝、立岡寿美子、水澤 昇、森山滋之、柳館淑子、結城常明
- 〈第4回生〉 今野和夫、平山 稔、井上英治、阿部剛夫、森田享子、大西葉子、河崎昌子、大熊正子
- 〈第5回生〉 上原藤三、井上勝夫、佐藤玲子、早川幸子、鈴木恵美子、石井弘志、佐藤仁子、高村多恵子、阿部道子、津端みち子、島子妙子、阿部忠男、渡邊寛治、松本悦子、小松悦子
- 〈第6回生〉 鈴木季子、久道勝信、相澤昌男、細川金子、中村繁子、長崎紀久子
- 〈第7回生〉 金澤 功、田上富美子、芳賀鐵夫、橋本洋二
- 〈第8回生〉 梅沢治子、関 春美、元安茂子、橋本照嵩、畠山 尚、秋山英子、首藤光春、鈴木健司、樽見和子、御牧道子、松田勝治、市川洋子、金森喜美子、安田圭吾、高嶋展広、山手てい子
- 〈第9回生〉 高橋紀子、飯田勝紀(2口)、後藤忠正、鹿野文二郎、加藤行雄、青山さわ、滝川 勇、田籠美子、菊池 正、喜友名典子、伊藤幸子、高橋洋治、梓田洋子
- 〈第10回生〉 菅ノ又桂子、加藤幸子、奥村かつ子、川野澄子、角田守弘、高泉政勝、緒方正子、勝又 勝、田代勝彦、今井和代
- 〈第11回生〉 渡邊みよ、高橋和子、菊池保夫、雫石登志子、高井篤三、後藤永子
- 〈第12回生〉 南里憲三(2口)、奈良坂仁、今井あい子、夏目都喜子、堤 和子、金澤由紀子、岡崎好子、蟹澤詔子、金澤 洋、吉田文也、岡崎国男、奥田捷治、榊 経子、村上秀一、後藤利男、西條 修、吉田義男、森田光子、門馬糸子、安田淳子
- 〈第13回生〉 佐々木次臣、佐々木文江、赤塚誠哉、勝島節子、植草良子、米田政明、藤村綾美、岡田ちづ子
- 〈第14回生〉 梅沢歌子、高橋真理
- 〈第15回生〉 西條紀郎、今井恵子、星 憲夫、星澤 晋、畠山清光
- 〈第16回生〉 森岡芳朗、葉 良枝、青山憲介、藪田美智子、石井俊子、渡辺啓子、吉田義弘
- 〈第17回生〉 佐藤真木男 〈第18回生〉 高梨 誠 〈第26回生〉 鈴木雅芳、高橋裕子 〈第31回生〉 鈴木昭浩
- 〈第32回生〉 菅原洋樹、井上俊次 〈第34回生〉 星野知倫 〈第36回生〉 浅野 剛 (以上 敬称略、名簿順)

※会費を納入された方で、お名前の記載の無い方は事務局までお知らせくださいますよう。

お振込に際してのお願い

窓口を通してお振込みされますと、手数料が120円徴収されます。振り込み用の機械(CD)で振り込まれますと、手数料は100円となります。出来るだけ、振り込み用の機械(CD)でお振込みされますよう、お願いいたします。

●お詫び 昨年ご寄付をいただいた方の名前が、昨年発行された第4号に記載されておりました。深くお詫び申し上げますと共に、改めて厚くお礼申し上げます。

第5回生・鈴木恵美子、遠藤正子(在石)、伊勢 道子(在石)〈第8回生・山手てい子〉

東京・石中会への寄付

東京石中会も今年で8年目に入ります。会の運営は、基本的には同窓生皆様からの貴重な年会費を財源としておりますが、事務費用その他の活動で、財政的にはまだまだ脆弱な面を有しています。

東京・石中会では、引き続き皆様からの貴重なご寄付を受け賜っております。ご芳志は、下記・事務局長宛お送りくださいますようお願いいたします。 飯田 勝紀

〒253-0072 茅ヶ崎市今宿 360-3-2-302

石巻の活性化、商店街の活性化のため、頑張っています。

電話0225(22)2128	栗野蒲鉾店	水産庁長官賞に輝く名品	電話0225(22)1030	井上海産物店	海産物のお土産なら	電話0225(22)1842	白謙蒲鉾店	海の活をそのままに	電話0225(96)5150	浜長	四季折々の磯の香りをどうぞ	電話0225(96)7080	藤間流師範 藤間京緑 (旧姓・猪股美智子)	日本舞踊稽古所にどうぞ(山下町)	電話0225(22)1101	ハイクイのまた	お化粧のことなら(仲町交番向い)	電話0225(96)3658	サルコヤ	玩具や楽器のことなら
----------------	-------	-------------	----------------	--------	-----------	----------------	-------	-----------	----------------	----	---------------	----------------	--------------------------	------------------	----------------	---------	------------------	----------------	------	------------

シリーズ・故郷行脚・その2

知っていますか？石巻の、あんなこと、こんなこと・・・

「無言館」館長・窪島誠一郎氏の実母は、石巻出身であった。

長野県上田市郊外の山王山の頂に、「無言館」という大東亜戦争で亡くなった画学生たちの作品と遺品を展示している美術館が建っている。この館長・窪島誠一郎氏の実母は、石巻市渡波町の出身である。

窪島氏は、靴職人の両親に大事に育てられ、成長していく過程のなかで、幼時の記憶や、両親との骨格の相違などから自分の出生に疑問を持っていく。幼時に聞いた、石巻という地名が漠然と心の中にあり、両親の友達を通じて聞いて見るが判然としない。

長じて、画商になり、仙台へ出張した際、時間を割いて石巻を訪れ、種々の困難な経緯を経て、幼時に母親と疎開していた渡波の町に辿り着く。

それから実の両親探しを始めるが、ふとしたことで実の父親を探し当てる。その父親と言うのは、誰でも知っている有名な作家であった。

その父親探しの経緯は、「父への手紙」(筑摩書房刊)という小説で発表し、NHKの夜の連続TVドラマとしても放映されている。その作家が誰であるか知りたい方は、この名著をぜひご一読ください。

窪島誠一郎
父への手紙



石巻が誇る偉人「フランク安田」友の会ご案内

1986-1958年、石巻・湊で生誕し16歳で見習い船員として渡米した安田恭輔。

アラスカ州のパロー村でイヌイト(現地人)女性と結婚。飢餓や疫病などに苦しむ現地人を救うため幾多の山脈を越えビーバー村を開拓。金鉱を発掘し毛皮商人としての道も切り開いた。「アラスカのモーゼ」とも呼ばれた。新田次郎原作「アラスカ物語」とし没後50周年忌法要が昨年8月23、24両日ビーバー村で挙行。石巻からも実行委員メンバー主体に一般人も含め27人が参加し盛況を極めた。特に日本舞踊や石巻日高見太鼓は藤間京禄さん(石中8回生・旧姓・猪股美智子)が中心となり上演し好評を博した。今後も「フランク安田友の会」では活動の継続を推進するため数多くの会員を募集中。希望者は〒986-0873石巻市山下町2-1-27 藤間京禄 FAX 2225-96-8867まで。または〒986-0891石巻市清水町2-7-7-505 FAX 0225-94-0813 岡崎喜蔵で受付歓迎中。



サルコヤの名前は、地元の方が名づけ親でした？

サルコヤには、「福助屋」と言う正式な屋号がある。先代の千代吉(故人)が、今の地に小間物・化粧品・日用雑貨そして少々の玩具などを販売する小さなお店を開店したのが、大正11年。当時はレジャー施設など皆無に近い状況とあって、玩具は以外にも売れ行きが伸び、祭りの日には在庫が底をついても、なお客が絶えなかったという。

ところが、一年も経たないうちにライバル店が現れ、お客の奪い合いが始まった。いろいろな手を尽くしたが、なかなか効果が現れない。そこで、ふとサルを飼って、お店の店頭に着くことを思いついた。これが功を奏し、



たちまち店の前は人々であふれ、サルは一躍街の人気者になった。

いつしか誰言うことなく、「サルッコヤに行って、サルを見にいけばえ」となって、お店の俗称がサルコヤになってしまった。地元の人々が名づけてくれた有難い名前を、今は正式な屋号として、大切にに使わせていただいているような。

現存のサルは、タローと言う名前で、35歳。歴代35代の中で、一番の長寿だそうである。犬山モンキーセンター所長の話によると、日本猿の長寿記録は36歳であるというから、もう少し長生きすればギネスものだと、サルコヤの現社長は今も張り切って餌を与え続けている。

気軽にご相談ください。

弁護士 鈴木雅芳
(26回生)

多田総合法律事務所

〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル3階
TEL:(03)3597-8855 FAX:(03)3597-8856
E-mail:suzuki@ts-law.jp

INFORMATION

新会長及び新役員（案）が内定しましたので会員各位のご承認を頂きたく提案致します。

会 長	首藤 光春（8回生）		
副 会 長	鈴木 健司（8回生）	早川 幸子（5回生）	
監 査	阿部 剛夫（4回生）	鈴木恵美子（5回生）	
事務局長	飯田 勝紀（9回生）	（副）菊池 正（9回生）	
会計部長	（兼）鈴木 健司	（副）小山 憲慶（18回生）	
広報部長	井上 勝夫（5回生）	（副）西条 修（13回生）	
庶務部長	上原 藤三（5回生）	（副）浅野 和雄（18回生）	
		（副）星野 知倫（34回生）	

尚、役員会から次の方々の
顧問就任要請がありました。

秋月 英美（3回生前会長） 阿部 剛（3回生前副会長）
青沼 義信（3回生前監事） 大木 郁子（3回生前監事）
坂本 武久（3回生前役員） 武山 勝（3回生前役員）

本会の運営については組織を一部改定し次のように致します。

役員会は本会の運営の実務を担当し、各回生役員は廃止し回生幹事会と致します。

役員会は実質的な運営をつかさどり事務局、会計部、広報部、庶務部に組織化し本会の活動方針の企画立案、及びその具体的な実施方法の検討等を行います。

回生幹事会は各回生から2名（1名では連絡不十分な場合が生じる）を選出し、総会開催に先立って総会付議議案、及び重要事項等を審議すると共に回生会員の連絡調整を行います。

東京石中会は平成14年10月5日設立総会を開催してから今年で8年目に入りますが、これまで会員皆様のご協力のもとに何とか同窓会としての礎（いしずえ）が築けたと思います。従って、これからは第2ステップとして石中同窓会本部（群鷗会）と協力体制を築きながら新会長を中心により一層の本会の発展に努め母校への恩返しが出来よう会員の皆さんと共に頑張りましょう。

〈東京石中会〉ホームページ開設のお知らせ!!

念願のホームページを開設しました。東京石中会の情報だけでなく、石中や石巻情報なども載せてあります。是非ご覧ください。

<http://book.geocities.jp/tokyosekichukai/index.html>

第7回 東京・石中会 6月7日(日) 開場：11:30 開宴：12:00

ニュートーキョー 数寄屋橋本店9階「ラ・ステラ」千代田区有楽町2-2-3

編集・広報 委員長 井上勝夫
委員会スタッフ 委員 首藤光春
委員 鈴木健司

事務局長 飯田勝紀

「東京石中会」が設立されて、8年目を迎えることになりました。会の主たる事業は①毎年行われる「総会」②会報「友よ！東京・石中会」よりの発行③母校への「課外授業講師派遣」で、年を重ねるごとに充実してきました。更に来年から東京石中会のホームページの開設を目指して準備中です。事務局が掌握している現在の会員数は680名で、すべての方に総会案内と会報を郵送しております。会の運営は、このとき同封する振込用紙による皆様方の年会費（10000円）によって賄われておりますが、年会費納入者は168名で、とても間に合いません。不足分は会報に記されている通り、有志の方々の寄付金と会報の広告料で補っております。事務局からお願いですが、会の維持発展のために年会費の納入に一人でも多くのご協力をお願いします。

事務局だより

感想：「意見を寄せください」

「東京石中会だより」第7号はいかがだったでしょうか。皆様のご感想やご意見をお聞かせください。皆様からの声を活かして、皆様から愛される広報紙にしたいと思えます。

投稿、大歓迎!!

石巻での思い出、中学時代のことや最近石巻を訪れて感じたことなど、何でも結構です。

皆様からの投稿をお待ちしております。投稿にはお名前、ご住所、回生、電話番号を明記の上、200×400字くらいにまとめて左記事務局まで郵便でお送りください。

宛先：東京・石中会 事務局
飯田 勝紀 〒253-0072
茅ヶ崎市今宿360-3-21302

祝!「東京石中会」設立8周年

広告主・各回生有志一同

昭和25年卒業(1950)

3回生

★今年の「石三会」懇親会を10月か11月に温泉一泊で企画したいと思っていますので多くの皆さんの参加を待っています。



昭和25年の世相

- 自由党発足。初代総裁吉田茂
- 南北朝鮮戦争勃発●聖徳太子千門札登場●第1回ミス日本に山本富士子(写真)●第1回プロ野球日本シリーズ開始。松竹ロビンスが毎日オリオンズ破る

昭和26年卒業(1951)

4回生

★僕の前に道はない。
僕の後ろに道はできる
(高村光太郎)



昭和26年の世相

- 社会民主党結成●日米安全保障条約調印●横浜桜木町駅で電車発火106人死亡。桜木町事件(写真)●食糧配給の民営化
- 日本航空「もく星号」就航 東京-大阪-福岡

昭和27年卒業(1952)

5回生

★今年の同期会は11月上旬か中旬に予定しております。案内状は追って郵送申し上げます。奮ってご参加の程を。



昭和27年の世相

- 第4次吉田茂内閣成立●羽根田空港に初のジェット旅客機着陸●ボクシング白井義男が日本初の世界王者(写真)●第15回五輪ヘルシンキ大会に日本は戦後初参加●東京駅前に新丸ビル完成

昭和28年卒業(1953)

6回生

★古きをたずねて新しきを知る=温故知新



昭和28年の世相

- 自由党結成し鳩山新総裁●保安大学創設(後の防衛大学)●奄美諸島が日本に返還●伊藤絹子がミスユニバース3位(写真)
- 巨人×阪神ナイター初放映●ベストセラー「君の名は」ヒット曲「街のサンドイッチマン」

昭和29年卒業(1954)

7回生

★少年よ大志を抱け!
=BOYS BE
ANBITIAS(クラーク)



昭和29年の世相

- 陸海空三軍の白衛隊発足●青函連絡船「洞爺丸」転覆115人犠牲者●マリリン・モンローが「デイズジオと新婚旅行で来日(写真)●プロレス力道山×木村組がシャープ兄弟と初のタッグマッチTV前に黒山の人だかり

おめでとう!「東京石中会」設立8周年

広告主・各回生有志一同

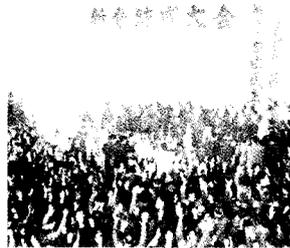
昭和30年卒業 (1955)

8回生

★青春とは、ある期間をいうのではなく心の持ち方をいうのだ (S・ウルマン)

伝言板

出席者の同期生で二次会を催します。1人でも多くのご参加を!



昭和30年の世相

●日本社会党、自由民主党結成 (写真) ●宮城県松山町で4人が殺害される (松山事件) トニー谷の長男誘拐も無事保護 ●国鉄・金田投手1季350奪三振新記録

昭和31年卒業 (1956)

9回生

★それを夢見ることができるならあなたはそれを実現できる (wディズニー)

伝言板

「七夕の会」と称し毎年7月7日に同期会を開くことになりました。今年で3回目ですが、楽しい会になりましたので奮ってご参加ください。

幹事: 飯田勝紀 伊藤幸子
喜友名典子 菊池 正



昭和31年の世相

●日ソ漁業条約調印 ●国連総会で日本の連盟参加承認 ●南極観測船「宗谷」が出發 ●東海道線が全線電化 (東京-大阪間7時間35分) ●ベストセラー「太陽の季節」 (写真)

昭和32年卒業 (1957)

10回生

★常によい目的を失わず努力を続ける限り最後には必ず報われる (ゲーテ)



昭和32年の世相

●岸内閣成立 ●コカコーラの販売始まる ●5千円札が登場 ●プロ野球スタルヒン投手が交通事故で死去 (300勝投手) ●ヒット曲「有楽町で会いましょう」 (写真)

昭和33年卒業 (1958)

11回生

★何度失敗しても「もう一度」の勇気を失わなければ必ず物になる (松下幸之助)



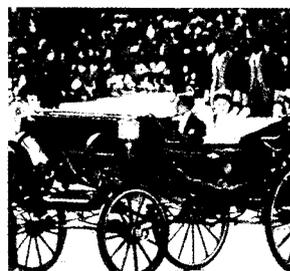
昭和33年の世相

●仏大統領ドゴール来日 ●関門トンネル開通 ●売春防止法施行 ●日清チキンラーメン発売 ●東京タワー完成 ●巨人・長嶋が連続4三振で公式戦デビュー (写真)

昭和34年卒業 (1959)

12回生

★陽はまた昇る =
The sun also rises



昭和34年の世相

●大蔵省がドル為替の自由 ●伊勢湾台風が中部地方上陸、死者5098人 ●尺貫法廃止がされメートル法に改正 ●皇太子・美智子妃ご成婚パレード (写真) ●巨人・長嶋が天覧試合でホームラン